| 区分 | 臨床・専門分野 | 授業科目名 | 臨床生理検査学実習（呼吸機能検査） | 単位数 | 1 |
|---|---|---|---|---|---|
| 対象学年 | 2学年 | 開講時期 | 前期 ・ 後期 ・ 通年 | 講義形態 | 講義 ・ 実習 |
| 担当教員名 | 城　宏史 | 実務経験 | 有・無 | 実務経験内容 | 呼吸機能検査を25年の実務 |

**授業の目的・目標**
呼吸は、循環と共に生命の維持に不可欠な機能です。基礎的知識と同様に酸・塩基に関する知識も含め、種々の呼吸器疾患について見識を深めてほしい。

**成績評価の方法**
①毎回授業前に小テスト
②定期試験　　③授業態度

**授業の概要・授業方針**
教科書に沿って基礎的理解と医療現場での実際と医療機器等を示がら、実習も含めた授業に生かしてゆく。
過去の国試問題も踏まえた講義内容にする。

**テキスト・参考資料等**
臨床生理検査学教本/医歯薬出版/臨床
肺機能テキスト、血液ガステキスト
呼吸機能検査技術教本（JAMT技術教本）

| 授業計画 | 講師 |
|---|---|
| | |
| 1回　肺機能検査の記号・単位・気体の表示と肺気量分画について | 城　宏史 |
| 2回　スパイロメトリ―とフローボリュウム曲線について及び測定手技 | 城　宏史 |
| 　　スパイロメトリ―の指標と評価 | |
| 3回　VC・FVC・MVV・CV・FRC・DLoc測定手技と実習 | 城　宏史 |
| 4回　血液ガス分析の実際と判定基準及び解釈について | 城　宏史 |
| 　　基礎代謝の概念と実際 | |

| 区分 | 臨床・専門分野 | 授業科目名 | 臨床生理検査学実習 | | 単位数 | 1単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 対象学年 | 2年生 | 開講時期 | 前期 ・ (後期) ・ 通年 | | 講義形態 | 講義 ・ (実習) |
| 担当教員名 | 松田　一之 | 実務経験 | (有)・無 | 実務経験内容 | 1982年～2015年　長崎みなとメディカルセンターにて筋電図検査、眼底検査および生理検査全般を担当 | |

**授業の目的・目標**
筋電図検査については1年次の復習にて国家試験に対応した知識の定着を図る。実習授業より被験者を体験することで患者の立場を理解する。また、検査者として素早く正確に検査することの重要性を経験する。

**成績評価の方法**
定期試験

**授業の概要・授業方針**
末梢神経伝導検査と眼底検査における検査者と被験者を体験する。それぞれの検査機器を用いて実習中心の授業を行う。
国家試験に対応した授業内容とする。

**テキスト・参考資料等**
最新臨床検査学講座「第１版　生理機能検査学」医歯薬出版
筋電計と眼底カメラの機器操作説明書

| 授業計画 | 講師 |
|---|---|
| 第1回　筋電図検査に必要な生理学的基礎知識（1年次の復習） | 松田　一之 |
| 第2回　針筋電図検査・表面筋電図検査・反復神経刺激検査（1年次の復習） | 松田　一之 |
| 第3回　神経伝導検査（1年次の復習） | 松田　一之 |
| 第4回　筋電図検査に関連する神経筋疾患まとめ | 松田　一之 |
| 第5回　運動神経伝導検査実技 | 松田　一之 |
| 第6回　感覚神経伝導検査実技 | 松田　一之 |
| 第7回　眼底検査、眼底疾患（講義） | 松田　一之 |
| 第8回　眼底カメラの撮影実技 | 松田　一之 |